

《高崎高校アメリカ研修5回目（2026年7月17日）報告書》

本日もとても天気の良い1日でした。日差しは強いのですが、日陰に入ると涼しく心地よい風も吹いていました。

英語クラスは、今まで学習したことの集大成として、多国籍の留学生たちと最後の授業を楽しみました。自分たちより年下の生徒が同じクラスで、しかも英会話は負けていることがとても悔しい思い出にもなったといっている生徒もいました。この悔しさをバネに帰国後は英語の勉強に力を入れてほしいです。本日は最後の授業ということで、クラスの先生から修了証が授与されました。

昼食の後、レッドラインの地下鉄に乗ってマサチューセッツ工科大学（MIT）を訪問しました。今回ツアーを担当してくださったのは、京都大学医学部を卒業後、臨床医を経て研究者になり、現在はMITで生命科学分野の最先端の研究に携わっている長野 真大さんでした。“生命がどのように細胞の運命を決めて分化しているのか”という生命科学の研究に取り組みされておりMITに行きたいからではなく、この研究をするのに一番適した大学がMITであったとのことでした。ご出身は三重県で、特に帰国子女であったわけでもなく高崎高校の生徒と同じ境遇です。キャンパスツアー中もたくさんの質問に答えてくれました。とにかくトップクラスの大学には、沢山のチャンスがあるので、今から目標をもって勉強すること、日本の大学から大学院は海外と大学というルートもとてもお勧めで、その際日本のトップ大学は沢山のコネクションを持っている可能性が高いとのことでした。とにかくアメリカの大学は研究者の待遇が良いこと、金銭面もアメリカの方がよく、例えば個人で動かせるお金は5年間で2.5億のアメリカに対して日本は2,000万と日本の10倍であることも教えてくれました。その話を聞いて目を輝かせている生徒もいました。その後MIT、ハーバード大学の生協を訪問して短い時間ですがお土産タイムを取りいったんタフツ大学に帰りました。質問が多くMITのツアーが伸びてしまった分は夕食の時間を短くし、夜のアクティビティは“ボストンナイト”ということで昨日同様約100名の留学生たちと一緒にグリーンライン、ブルーラインを乗り継いでREVERE BEACH駅で下車、大西洋の海岸で夜の祭りの催しを1時間体験しました。他国の生徒とも仲良くなって一緒に行動している生徒もいました。明日の班別自主研修のプランを各班提出してから消灯となりました。毎日忙しい中でも生徒たちは班別の計画を考えていてくれたので、比較的早く終わることができました。明日はボストン最後の企画“班別自主研修”です。安全第一に考え行動してもらおうよう生徒たちには伝えました。その後のMLBレッドソックス戦も本日は吉田選手がホームランを打ったことや現在11連勝中だということもあり、明日は盛り上がると思います。



朝食時の交流①



朝食時の交流②



英語クラス①



英語クラス②



英語クラス①



MIT キャンパスツアー①



MIT キャンパスツアー②



MIT キャンパスツアー③



MIT キャンパスツアー④



MIT キャンパスツアー 座談会



MIT ドームで集合写真



夜のアクティビティ